

冬山遭難事故をなくそう

芦屋警察署

兵庫県教育委員会
兵庫県山の遭難対策協議会



冬山の遭難事故は、年末と年始に多発しています。登山計画を立てるときは、安全を第一にして事前研修を重ね、慎重な行動をとることが大切です。

今年こそは、冬山遭難事故がゼロになるよう、次のことに注意しましょう。

冬山への心構え

風雪の厳しい冬山に立ち向かうためには、十分なトレーニングで体力、技術、気力を養い、装備に万全を期すとともに、謙虚な気持ちで山に入る心の準備が大切です。不安なときには引き返す勇気と時期を誤らないようにしましょう。

登山計画書を忘れずに

- 1 遭難事故発生時の捜索、救助活動に支障が生じるため、山へ登るときは必ず届け出ましょう。
- 2 届け出先は、家庭、職場、学校などのほか、山城の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポスト、登山地域の警察本部地域課（北海道を除き県庁所在地にあります）または入山地所轄警察署地域課、交番、駐在所に提出しましょう。
- 3 登山計画書は、別添様式をご利用ください。また、神戸登山研修所（☎078-801-3267）でお求めいただくか（社）日本山岳協会ホームページ

<http://www.jma-sangaku.org/tozan/plan/format>

から、ダウンロードできます。

単独登山は厳禁です

未経験者（未組織者）や少し経験のある中高年の単独登山者の遭難事故が増加しています。一人での登山は気ままに行動できますが、万が一遭難が起きた場合どうすることもできません。

経験あるリーダーと一緒に登りましょう。

登山計画は綿密に

- 1 リーダーには、経験、技術、判断力、体力の豊かな人を選びましょう。
- 2 山の決定は、リーダーとメンバーの力量を考え、目的に応じて選びましょう。
- 3 装備は、登山形式、日程、コースなどによって種類を選択し、特に非常食、救急用品、雨具、通信機器、着替えなどの用意をしましょう。
- 4 登山規制地域を確認しましょう。
- 5 山岳保険、傷害保険に必ず加入しましょう。

ア 山岳保険：日本山岳協会山岳共済会へ入会された方には、次の共済制度があります。

（遭難捜索費用を含みます）

日山協山岳遭難共済、日山協特別共済

連絡先〔神戸登山研修所 〒657-0838 神戸市灘区王子町 2-2-1 ☎078-801-3267〕

イ 傷害保険：会員以外の一般の方々には、民間損害保険会社の山岳保険の他、次の傷害保険があります。（5名以上のグループであれば加入できます）

スポーツ安全保険

連絡先〔（財）兵庫県体育協会内・スポーツ安全協会兵庫県支部 ☎078-332-2380〕